

～水を安定的に送水するために～

通水管調査とポンプ整備の見学会を開催

令和元年 12 月 23～24 日に、行政機関の担当者を対象に管内調査及び揚水ポンプ整備の見学会を開催しました。

当日は、霞ヶ浦用水管理所が実施する通水管内部の調査と揚水ポンプの分解整備工事の状況を茨城県農林水産部、関東農政局利根川水系土地改良調査管理事務所、農研機構及び関係市町の約 30 名が参加して頂きました。

ポンプ整備においては、ポンプ内部部品の整備や止水パッキン等の消耗品の取替の必要性、作業の方法について説明を行い、日本でも最大級となる農水 2 号ポンプ（8,000kw のモーターの組み合わせ）の内部を観察して頂きました。

通水管調査においては、実際に管の中に入っただき、直径 2.2m のダクタイル鋳鉄管における内面の劣化状況や調査方法の説明を行いました。

霞ヶ浦用水管理所では、施設を長く使用し、安定的に用水の供給を行うため、定期的な設備の点検・整備を行うとともに、埋設されている通水管の調査を継続してまいります。

